研究所退任者挨拶

前所員　**白　井　賢　司**
（伊達市立星の丘小・中学校）

胆振教育研究所の所員として４年間大変お世話になりました。常に先進的な話題に触れ、他校の先生方と意見を交わすことができ貴重な経験となりました。特に研究委託校・実践校への学校訪問では各校で研究や研修に真摯に取り組む先生方から刺激をいただき、自身の実践にもいかすことができました。

今後も研究所で培った学びやご縁を大切にして、これからの教育の発展に努めてまいります。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

前所員　**甲　谷　　健**
（室蘭市立八丁平小学校）

研究所員としての２年間、大変お世話になりました。短い期間ではありましたが、皆様のおかげで多くのことを学ばせていただきました。

研究委託校・実践校への訪問では、各校における様々な実践を拝見し、大変貴重な学びを得ることができました。また、先生方が熱心に研修に取り組まれる姿に触れ、私自身も一層研鑽を積まなければならないと感じた次第です。

これまでの研究所での経験を生かし、今後も子どもたちのために精進していきたいと思います。在任中、お世話になりました皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

前所員　**渡　辺　隆　之**
（伊達市教育委員会）

所員として４年間、教育理論や実践に関する研究に取り組み、その成果を少しでも多くの方々に届けられるよう努めてまいりました。また、共同研究者として学校を訪問し、研究会や校内研修会に参加する中で、多くの先生方と貴重な意見を交換する機会にも恵まれました。教育の現状や課題に真正面から向き合いながら活動を続ける中で、多くの学びを得るとともに、自分自身の成長を実感することができました。

社会が加速的に変化する中、教育の在り方もまた大きな転換期を迎えています。そのような時代に、研究所の一員として教育の課題に取り組み、わずかでも変化に貢献できたことは、私にとって大きな誇りです。ここで培った経験を生かし、これからも胆振の教育の発展に尽力してまいります。

最後になりますが、胆振教育研究所の活動にご理解を賜り、支えてくださった皆様、共に学び合った先生方に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

前所員　**藤　田　佳　嗣**
（伊達市立光陵中学校）

このたび、教育研究所の所員を退任することとなりました。在任中は、機関誌の制作や各学校への訪問を通じて、先生方の熱意や実践に直接ふれる機会を多くいただき、大変学びの多い時間を過ごすことができました。これらの経験は、今後の教育活動にも大いに生かしてまいります。ご多忙の中ご協力いただいたすべての皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

■ 発　行　胆振教育研究所　TEL・FAX 0143-80-3100　ホームページ http://www.iburi-education.jp/
〒059-0551　登別市登別温泉町123-1　のぼりべつ文化交流館 カント・レラ２階
■ 代表者　所長　佐藤　　淳
■ 印　刷　㈲村上印刷　〒052-0026　伊達市錦町９５番地１　TEL0142-23-2625　E-mail　murakamiprinting@amber.plala.or.jp

所報 いぶり

第１号
令和7年6月25日発行

胆振教育研究所

CONTENTS

▶ 所長挨拶・所員紹介　▶ 研究所の事業について
▶ 胆振教育研究所退任者挨拶

所長挨拶

今年度も胆振教育研究所所長を務めることになりました伊達市立東小学校の佐藤です。

本研究所は、今年度75年目を迎える教育研究所で、室蘭市、苫小牧市を除く管内９市町の小中学校の教育の発展と充実に寄与すべく努めてまいりました。昨年度は、「一人一人の子供を主語にする授業づくり」をテーマに、理論研究は勿論のこと、実践例を紹介した研修講座などを開催し、多くの教員の皆様に還元することができました。また、本研究所の研究委託校・実践校を所員が訪問し、一緒に学ばせていただくとともに各校の研究の成果を研究紀要で紹介させていただきました。

現行の学習指導要領も中間点を迎えていますが、個別最適な学びと協働的な学びの一体化の充実は、まだ道半ばです。各学校では、ICTを効果的に活用して、子供たち一人一人の学びを深める授業改革が進められています。しかしながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」のバランスや連動の在り方については、未だ模索が続いており、学校現場では多くの実践的な知見や共有が求められています。

こうした状況の中で、本研究所の役割は重要であると感じています。教育は常に変化し続ける営みです。私たち研究所の取組も止まることなく、胆振教育の推進のために全力で取り組んでまいります。

胆振教育研究所　所長　佐　藤　　淳（伊達市立東小学校長）

所　長
佐藤　　淳
（伊達市立東小学校）

副所長
横山　康彦
（登別市立登別中学校）

事務局長
髙橋　賢治
（登別市立鷲別小学校）

事務局次長
黒川　知恵
（白老町立白老小学校）

所　員
中村　章人
（登別市立富岸小学校）

所　員
永井　　久
（登別市立緑陽中学校）

所　員
中島　正義
（伊達市立伊達中学校）

所　員
藤井　　健
（伊達市立伊達小学校）

所　員
福山　元気
（登別市立登別中学校）

所　員
西島　勇武
（伊達市立東小学校）

胆振教育研究所の事業

企画・運営

夏季研修講座

「学びのユニバーサルデザイン　何か知っていますか？」(仮)
令和７年８月21日（木）

冬季研修講座

「一人一人の子供を主語にした授業づくり(実践報告会)」(仮)
令和８年１月７日（水）

ニーズに応じ、指導力の向上につながる講座を企画していきます。

合同研修会

本研究所の研究推進計画の説明や研究委託校・実践校の研究の概要、研修推進の課題・成果について交流していきます。

第１回　　６月　３日(火) 実施
第２回　１１月２０日(木) 実施予定

作成・提供

２月発行予定

刊行物・紀要

- 今日的な教育課題等を踏まえ、日々の教育活動に結び付く実践的な研究を進めています。
- 各校の実践により役立つような紀要等の発行に努めてまいります。ぜひ、ご活用ください。

広報活動

研究委託校・実践校の特色ある教育活動や優れた取組、本研究所の活動内容をわかりやすくお伝えしていきます。

教育いぶり　年２回　所報いぶり　年５回
ホームページ　随時更新
http://www.iburi-education.jp/

所員訪問

研究委託校・実践校との連携

研究委託校・実践校の研究にかかわって、共に学び、情報の提供を行います。

共同研究

校内研修・公開研究会への参加・協力

胆振教育研究所

～所員研修会～
事業の検討・実施　所員10名

～場　　所～
カント・レラ(４～９月)
登別市立鷲別小学校(事務局)
(１０～３月)

カント・レラは９月３０日をもって閉館いたします。以降は、事務局（登別市立鷲別小学校）で対応いたします。

支えていただく９市町

- 登別市
- 伊達市
- 豊浦町
- 洞爺湖町
- 壮瞥町
- 白老町
- 安平町
- 厚真町
- むかわ町

理事会

９市町教育長で構成。研究所の組織運営に関することを決定します。

運営委員会

各市町教育研究会の代表者、胆振教育局、へき地複式教育連盟代表者、社会教育代表者で構成。各事業推進に向けた支援など、研究所と各市町や関係機関を結ぶ役割を担っています。必要に応じて開催します。